

購読のお申し込み
0120-026-999
配達・集金お問い合わせ
03-6910-2556
広告のご用命
03-6910-2489

諸願祈願
鹿野山神野寺
☎ 0 4 3 9 (3 7) 2 3 5 1



明石小解体「最後のイベント」



①解体される明石小 ②在りし日の明石小(いずれも保存を望む会提供)

一九二六年に完成しを教訓に建てられた復学会が「国の重要文化財に相当する」と指摘が、区は老朽化を理由

建て替えるための惜しまれながら解体される中央区立明石小(明石町一)の校舎を心に刻み込もうと、地域住民らでつくる市民グループ「明石小学校保存を望む会」が二十日から区内でイベントを開く。現地では解体工事が進む中、同会は「校舎を守れず残念。たぶん最後のイベントになる」としている。
(岡村淳司)

残る復興小守る「糧」に

映像などでメッセージ 保存を望む会ら 20日か

中央区にある復興小が、区は老朽化を理由の一つで立中央小(湊)に明石小とともに建て替える計画を進めていから始まるのを受け、市民団体「中央小学校・幼稚園の建替え計画」を考へ直す会が十七日、都庁で会見を開き、区の建て替え計画を「強引だ」と批判した。

中央小の現校舎は一九一九年に完成。日本建築学会が文化的価値の高さを指摘している。

中央小の現校舎は一
九一九年に完成。日本
建築学会が文化的価
値の高さを指摘した
いる。

「強引」と批判 中央小解体を

市民団体

に解体を続けている。在りし日の校舎や解体工事の様子、関係者の言葉などを紹介するイベントは、区内の二カ所で開催。築地の第一会場では写真の展示などを行い、銀座の第二会場ではスライドを投影して思い出を振り返る。

同会の中村敬子会長(三毛)は「保存運動を通じていろいろな人と知り合えた。そんな人びとにメッセージを送るとともに、残る復興小の保存につなげたい」と話している。

第一会場の「ギャラリー」は「つきじTASSぎや」(3541)0124
第二会場の「ギャラリー」は「若松屋」(535)5733が